

観光立国の実現は地方(地域)から

# 新時代への戦略を推進

## 東京五輪イヤーへの取り組みは

### 首都圏シティホテル総支配人座談会

首都圏のシティホテルは、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年どのような戦略で臨むのか。集客をはじめMICE、人材、IT化などへの対応が課題だ。ザ・キャピトルホテル東急取締役執行役員総支配人の末吉孝弘氏、品川プリンスホテル執行役員総支配人の橋本哲充氏、横浜ロイヤルパークホテル常務取締役総支配人の雄城謙二郎氏、ホテルニューグランド常務取締役総支配人の青木宏一郎氏の4人に語り合っていた。座談会のファシリテーターは、立教大学観光研究所特任研究員の玉井和博氏。総司会は観光経済新聞社企画推進部長の江口英一。

(東京都港区の品川プリンスホテルで)

#### 19年マーケットの動向

2019年どのような年だったか。末吉 2019年は台風などの天災、外交問題、ホテル間の過当競争といったネガティブな出来事があり、東京のホテルマーケットでも若干の影響が見られた。ただその中でインバウンドはフランスより増えてきて、全体的にはある程度順調に推移した年だったと感じている。ラグビーワールドカップ日本大会で盛り上がった10月には、ザ・キャピトルホテル東急では宿泊の外国人比率は80%近くまで伸びた。一方、私たちのホテルはビジネス利用も多く、国際情勢の影響を少なからず受けた1年であった。最近、観光利用とビジネス利用の境界が曖昧になってきているが、それ



【ファシリテーター】  
立教大学観光研究所 特任研究員  
玉井 和博 氏

の2019年は国際的な会議がフランスに作用した。結果としてウインド比率が低い横浜はインバウンド減少の影響も少なかった。そのことからインバウンドが増えているかと言及は、急激な伸びはいた見られない。ラグビーワールドカップがあったので単月では大きく伸びたと思うが、まだまだ横浜という町はインバウンド未開の地だ。逆に言えば伸びしろがある。ホテルニューグランドは新興アジアからの利用がまだほとんどない。韓国からの利用は母数が低いのでカンパニーによって欧州からの利用が非常に増えたことで、2019年のインバウンド比率が全体的に下がる事態は避けられた。内訳を見るとラグビー開催期間中は韓国と欧州が完全に入れ替わっている。日韓の関係が良好であればインバウンド比率はもっと伸びたと思う。

#### W杯で外国人比率が上昇

#### 国内市場で圧倒的な支持

#### 会議やイベントが「特需」

#### 横浜は訪日客に伸びしろ

ラグビーワールドカップが、ても低く、通常30%を切るラグビーワールドカップが、花火大会といった毎年恒例のイベント期間に重なることなどが入った期間は、60%程度まで大きく伸びた。ラグビーワールドカップは、もともとインバウンドの割合が低く、通常30%を切るラグビーワールドカップが、花火大会といった毎年恒例のイベント期間に重なることなどが入った期間は、60%程度まで大きく伸びた。



品川プリンスホテル  
執行役員 総支配人  
橋本 哲充 氏



ザ・キャピトルホテル 東急  
取締役執行役員 総支配人  
末吉 孝弘 氏

大きな自然災害への対応策は。末吉 2019年は日本列島各地が天災の被害を受けた。当社の営業部門が受けた打撃も大きく、何千万円単位の損失が出た。自然災害への対応策として、特に「BCP(事業継続計画)対応」は、各ホテルで取り組んでいる。BCP(事業継続計画)対応は、各ホテルで取り組んでいる。BCP(事業継続計画)対応は、各ホテルで取り組んでいる。BCP(事業継続計画)対応は、各ホテルで取り組んでいる。

#### シティホテルの災害対策

大きな自然災害への対応策は。末吉 2019年は日本列島各地が天災の被害を受けた。当社の営業部門が受けた打撃も大きく、何千万円単位の損失が出た。自然災害への対応策として、特に「BCP(事業継続計画)対応」は、各ホテルで取り組んでいる。BCP(事業継続計画)対応は、各ホテルで取り組んでいる。BCP(事業継続計画)対応は、各ホテルで取り組んでいる。

宿泊施設 総合情報システム

<大・中規模向け>

ホテル総合情報システム

<中・小規模向け>

accommod

ゲストハウスからフルサービスホテルまで

多言語・海外拠点にも対応

24時間 365日のサポート体制で安心

■ 柔軟なカスタマイズ

- ホテル全体の運営をフォロー
- 業務改善に効果的
- クラウド対応で安心・安全

■ 初期費用0円

- タブレット1台で完結
- 予約システムと一体化
- ネット環境があればOK

株式会社タップ

〒135-0016 東京都江東区東陽 2-2-4 マニュアルプレイス東陽町 1F

TEL : 03-5683-5311 FAX : 03-5683-5310 WEB : <https://www.tap-ic.co.jp/>